

サクラチェッカー

病的骨突出測定器

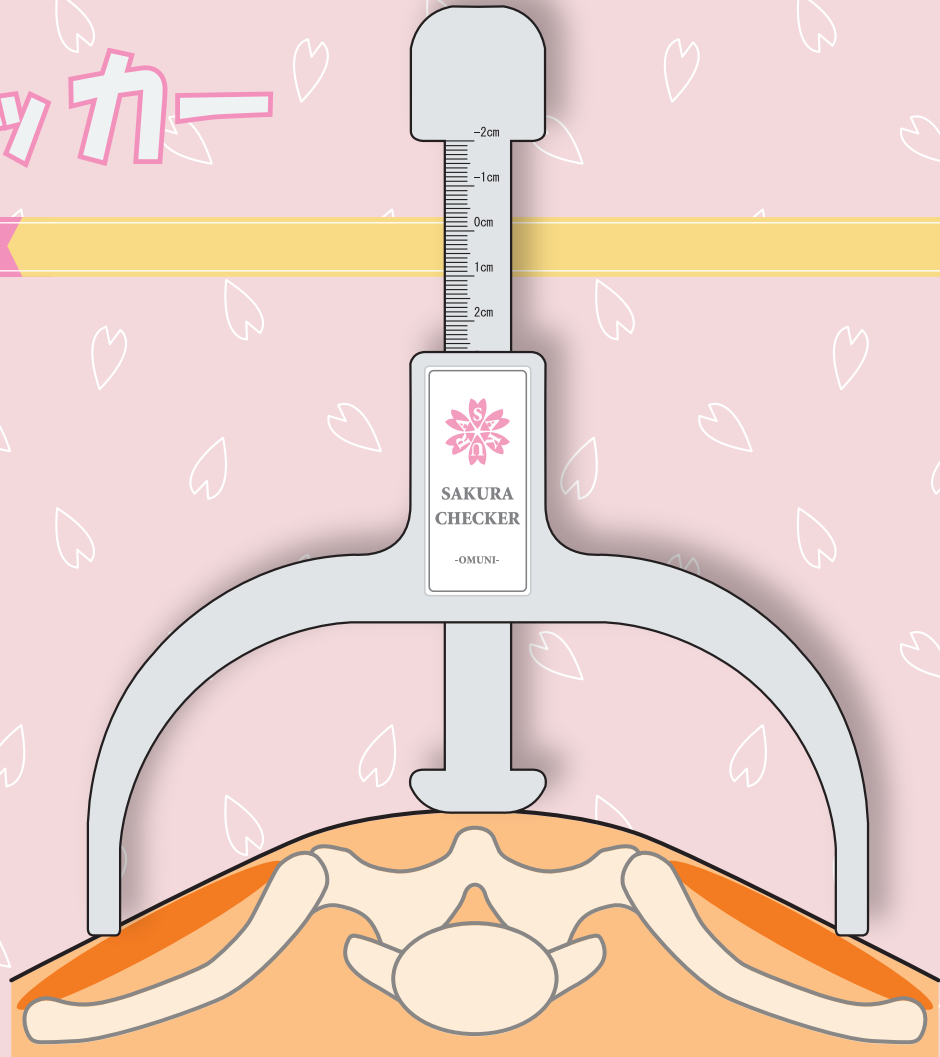
監修

大浦 武彦

北海道大学名誉教授
日本褥瘡学会 初代理事長
日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会 初代理事長
褥瘡創傷治癒研究所 所長

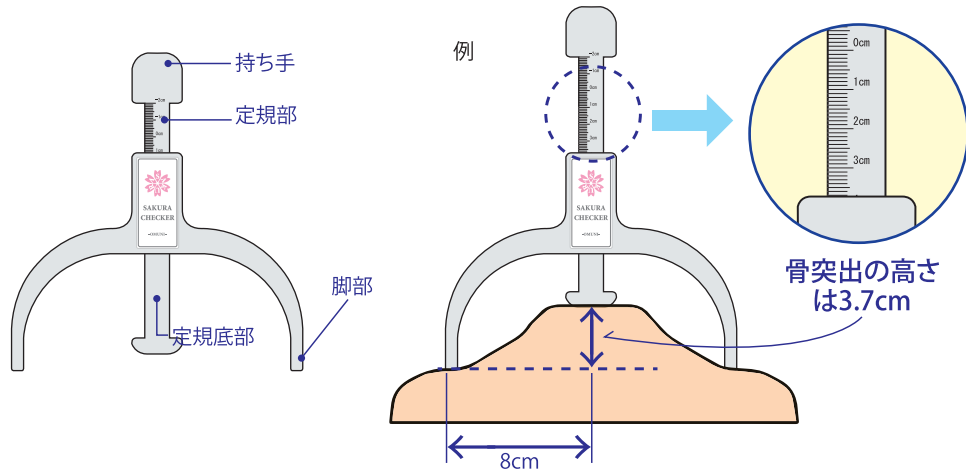
福田 正人

元特定医療法人平成会平成会病院副院長



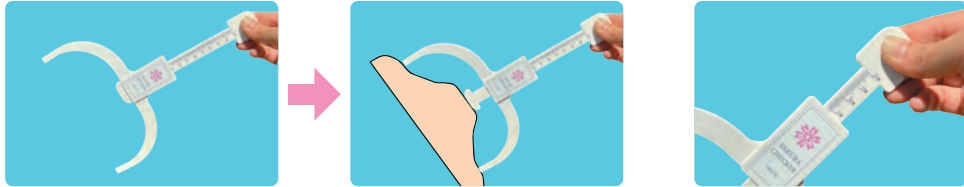
生産終了

各部の名称と数値の見方



測定方法

- 対象者を側臥位または腹臥位にして測定します。

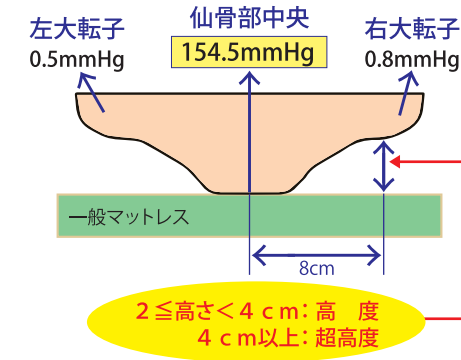


測定値の評価

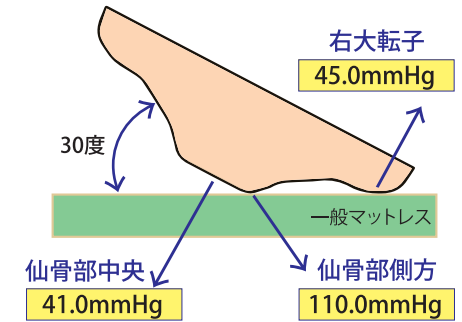
- 骨突出0～2cm未満は褥瘡危険要因（OHスコア）軽・中等度レベル1.5点となります。
- 骨突出2cm以上は褥瘡になる危険が高度レベル3点となり、褥瘡になる確率が高くなります。
- 骨突出が大きい場合にはオムニマット・ラテ、フォレス等のマットレスや体位変換クッションおむみんを利用し局所圧を下げる工夫をして下さい。

病的骨突出の影響

【仰臥位】



【側臥位】



測定の特長

- 危険要因（OHスコア）レベル別褥瘡発症確率と治癒期間（手術例は含まず）

危険要因OHスコア	褥瘡発症確率	平均治癒期間 ^{※1}
軽度レベル / 1～3点	約25%以下	40日 ^{※2}
中等度レベル / 4～6点	約26%～65%	57日
高度レベル / 7～10点	約66%以下	173日

※1 マットレスが適切に使用され、且つ完治した仙骨部褥瘡115例のデータ

※2 P<0.001

- 病的骨突出の程度と看護・介護計画の実態

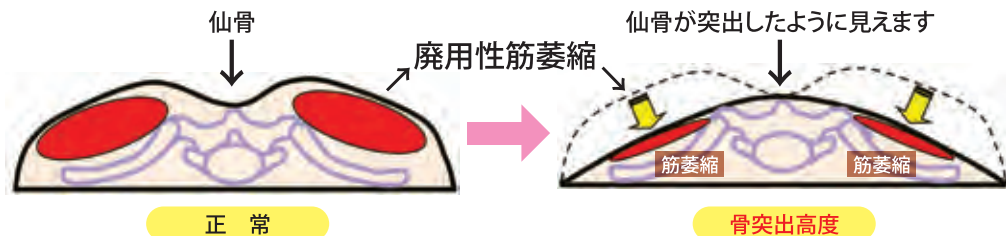
		病的骨突出	
		軽・中等度レベル 1.5点	高度レベル 3点
ベッド	体位変換	・3～4時間毎でもよい（特に夜はおむつ交換時）	・2時間毎 ・高機能マットレス使用が条件 ・側臥位45°必要な事が多い ・時に側臥位90°とする
	頭側アップダウン時（圧・ずれ力が発生する）	・注意して、頭側ベッドアップ ・必ず背中の背ぬきをする ・仙骨、尾骨部の圧ぬきを行う	・常時注意する ・人力による身体挙上をした後、ベッドを操作し身体に合わせる ・背ぬき、圧ぬきは必ず行う
	体圧分散式マットレスの選択	・体圧分散の機能を考える（中等度） ・本人の希望も考慮し選択する	・体圧分散性能を重視する ・出来るだけ高機能タイプのマットレスを使用する

病的骨突出とは

寝たきりになると殿筋が萎縮し、相対的に仙骨が高くなることです。

病的骨突出の原因

低栄養・歩行不能となると殿筋は急速に萎縮します。(これを廃用性筋萎縮といいます)



病的骨突出測定の意義

- 1) 病的骨突出 (以下骨突出) を測ることで褥瘡危険度 (以下危険度) が予測できます。
- 2) 骨突出を測ることでOHスケールで危険度を推測できます。
- 3) OHスケールの危険要因毎に看護ケア計画を立てると分かり易いです。
- 4) OHスケールの危険度により褥瘡発症確率が検証されています。
- 5) OHスケールの危険度毎に予後を推定してあるのでケアの計画を立てられます。
- 6) 骨突出を定量的に測ることは褥瘡予防に有用です。

仕様

本体サイズ	H180~240×W175×8mm
測定範囲	-20~60mm
材質	PBT(ポリブチレンテレフタレート)
製品重量	約38g

本品ご使用時の注意

- 強い衝撃を与えると破損の原因となります。
- 用途以外の目的に使用しないでください。
- 高温の物に触れますと変形する恐れがあります。
- 消毒の際は、アルコール又は次亜塩素酸ナトリウムをご使用ください。
- 本カタログに記載されている製品のデザイン・仕様等は予告なく変更することがございますのでご了承下さい。

■取扱総代理店



健康と快適の明日を考える

ワタキュー セイモア株式会社

<http://www.watakyu.co.jp/>

■製造元



株式会社オムニ商会

<http://omuni.co.jp/>

〒069-0210 北海道空知郡南幌町南10線西14番地
TEL.011-378-7080 FAX.011-378-7081